

令和7年 第1回 定例会発言通告整理表 (受付順)

No.1

| 発言順 | 発言者氏名 | 発言通告内容 | 答弁者 | 備考 |
|-----|-------|--|-----|----|
| 1 | 阿部 猛 | <p>『農業予算について』</p> <p>新年度は過去最高の約40億円と言う予算を組もうとしています。内容的には村の産業である農業予算が余りにも少なすぎると思いますがいかがでしょうか。</p> <p>やる気のある農業者が定着するには、支援対策をしっかりと示していかなければ農業人口も増えていきませんし、赤井川村に行って農業をしようとする若者が増えると思えますか。</p> <p>将来について種をまくという考えがあるか聞かせてください。</p> | 村 長 | |
| | | <p>『農業委員の報酬について』</p> <p>農業委員は地域の農業振興と発展において重要な役割を果たしており、その活動に対して適切な報酬を支払うのは不可欠と考えていますがどう思っていますか。</p> <p>なぜかと言うと30年以上という長期に渡り、委員報酬は据え置かれていますが、物価の高騰や労賃の見直しが行われる中で、委員のモチベーションを考えたら検討する時期に来ているのではないのでしょうか。村長の考えを聞かせてください。</p> | 村 長 | |
| 2 | 連 茂 | <p>『赤井川村 DX2025 の現状と今後の課題と展望』</p> <p>政府が求める地方自治DXも、各自治体の事情やスキルに任されるところが多く、DXの扱い方によって市町村の住民サービスの質が違ってくるといふ事例が現れ始めています。具体的には総務省発表の『地域社会のデジタル化に係る参考事例集(3.0)』に様々な事例(約200例)が紹介されていますが、それらは大きく5つに分けられると思われます。</p> <p>①オンラインでの申請手続き(マイナンバーの活用・キャッシュレス決済)</p> <p>②ペーパーレスや押印の廃止による印刷や郵送などのコスト削減(ソーシャルネットワークの利用)</p> | 村 長 | |

令和7年 第1回 定例会発言通告整理表 (受付順)

No.2

| 発言順 | 発言者氏名 | 発言通告内容 | 答弁者 | 備考 |
|-----|-------|---|-----|----|
| | | <p>③いつでもどこでも個別化されたサービスの提供（インターネットやコンビニによる行政書類の発行）</p> <p>④行政の運営や財政状況の透明化（ネット配信システム）</p> <p>⑤地方自治体間での情報共有と効率的な連携</p> <p>一方、課題として考えられるものは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルデバイド（高齢者や低所得層などが利用するためのスキルが不足し、サービスを十分に活用できない可能性がある） ・セキュリティ（住民の個人情報を保護するためのセキュリティ対策） ・導入にかかる費用 ・技術の変化に対応するためのスキルアップ、それに伴うデジタル人材の確保 ・住民の理解と協力 <p>これらの課題を踏まえ、村のデジタル戦略についていくつか確認したいと思います。</p> <p>① DX化について 政府が地方行政に求めるDX化に対し、村の現状と問題点（特に遅れている項目やできていない事柄）があればお伝えください。</p> <p>② 生成AI（チャット GPT・Microsoft Copilot・Google Gemini）の利用について めざましい進歩を遂げる生成AIの取り扱いが市町村によってかなりの温度差があると聞きますが、村職員の導入および利用について村長の考えをお聞かせください。</p> <p>③ セキュリティについて 村のホームページや行政間のクラウド利用で以前も話題になったセキュリティについての現状と、個人情報保護の観点から取り組んでいることがありましたらお知らせください。</p> <p>④ デジタルスキルの向上について デジタルスキルの差が業務の効率につながると感じていますが、日々進歩するデジタル技術の職員への研修やデジタル化社会に適應できる力</p> | | |

令和7年 第1回 定例会発言通告整理表 (受付順)

No.3

| 発言順 | 発言者氏名 | 発言通告内容 | 答弁者 | 備考 |
|-----|-------|---|-----|----|
| | | <p>を育成することについて、どのように考え、現在取り組んでいるのかお聞かせください。</p> <p>⑤ 庁舎改修に伴うデジタル化について庁舎改修に伴いデジタル化が一層進むのではないかと思います。先日受け取った改修計画を見ると、特定のデスクを持たないフリーアドレスがイメージできますが、現在の構想として改修に伴うデジタル化についてどのようなイメージを持たれているかお聞かせください。また、インターネット回線やWi-Fi環境などについても変更のある部分があれば教えてください。</p> <p>⑥ デジタルツールの活用について 4番の質問と若干重なる部分もありますが、デジタルツールの活用により業務の効率化や革新を図るためにはデジタル人材が急務です。企業との連携や協定など、それに繋がる動きも感じていますが、現状と今後の見通しについて村長のお考えをお伝えください。</p> <p>⑦ 防犯カメラの活用について 最後にDXとは少し異なりますが、村の治安向上とセキュリティ、住民の安心・安全を確保するため、以前から公共や教育に関わる場所への防犯カメラ（ビデオ）の設置を要望してきましたが、最近の特殊詐欺や盗難による犯罪、そして詐欺や犯罪の多様化を恐れ、改めて住民からの要望もありましたのでお聞きします。犯罪の抑止効果や事件の解決に寄与する防犯カメラについて導入の効果や必要性をどのように考えているのか、さらに、今こそ導入を検討する時期だと考えますが、村長のお考えをお聞かせください。</p> | | |
| 3 | 能登 ゆう | <p>『「2025年問題」への取り組みについて』</p> <p>本年2025年は、「団塊の世代」（1947-1949生まれ）がすべて75歳以上の後期高齢者となる年だそうです。国民の約5人に1人が75歳以上の後期高齢者、約3人に1人が65歳以上の高齢者であるという、「超高齢化社会」を迎えます。人口構造の変化に伴う社会の諸課題がいつそう深刻になることが見込まれ、国では「2025</p> | 村 長 | |

令和7年 第1回 定例会発言通告整理表 (受付順)

No.4

| 発言順 | 発言者氏名 | 発言通告内容 | 答弁者 | 備考 |
|-----|-------|---|-----|----|
| | | <p>年問題」として、20年程前から様々な分野での対策が進められてきました。</p> <p>「2025問題」の現在地に立ち、村としても対応すべき多くの政策課題があると考えます。そのいくつかについて、質問致します。</p> <p>① 人材不足・人手不足</p> <p>基幹産業である農業や観光のみならず、地域社会のあらゆる分野で、人材・人手の不足が顕在化しています。またリゾート地域での賃金が高額となり地元事業者の雇用が困難となっているニセコ地域の状況は、地域特有の課題として、赤井川村も他人事ではありません。村の現状と取り組みについて伺います。</p> <p>② 暮らし続けられる地域づくり</p> <p>高齢化による社会保障費の増加を見据え、国は「住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築」を目指し、取り組みを進めてきました。赤井川村では、「高齢化率は上昇傾向にあるものの、高齢者数はすでに減少傾向」(※1)だそうです。高齢の住民にとっても、自分らしい暮らしを続けられる村であるように、地域包括ケアシステム実現に向けた村の取り組みについて伺います。</p> <p>③ 空き家の増加</p> <p>赤井川村においては、高齢単身持家世帯(48世帯)と高齢夫婦持家世帯(53世帯)を合わせた101世帯が、いわゆる空き家予備軍(※2)という状況だそうです。大量の空き家の発生に備える、村の取り組みについて伺います。</p> <p>④ 社会インフラの老朽化</p> <p>高度経済成長期に集中的に整備された道路や上下水道等の社会インフラについて、老朽化に対応した適切な維持管理、そのための財源不足も、地方自治体にとっての大きな課題として挙げられます。1月に八潮市での大きな陥没事故があり不安を感じている住民も多いと思いますので、ここでは特に上下水道について、村の維持管理状況と財源確保の取り</p> | | |

令和7年 第1回 定例会発言通告整理表 (受付順)

No.5

| 発言順 | 発言者氏名 | 発言通告内容 | 答弁者 | 備考 |
|-----|-------|---|-----|----|
| | | <p>組みについて伺います。</p> <p>⑤「2040年問題」への備えと村づくり</p> <p>人口構造の推移を見ると、今後は「高齢者の急増」から「現役世代の急減」へと局面が変化するそうです(※3)。「団塊ジュニア」(1971-1974 生まれ)が全て 65 歳以上となる 2040 年は高齢者人口のピークとされますが、生産年齢人口、就業者数は今まで以上に著しく減少すると見込まれ、「2040年問題」として対応が急がれています。赤井川村という地域・自治体も、今まで以上に少ない住民で維持していく事になると予想され、引き続き、人口変化に応じた村づくりが課題であると感じます。村長のお考えを伺います。</p> <p>(※1)、(※2) 赤井川村景観計画(案) 参照 (※3) 平成30年4月12日経済財政諮問会議資料より</p> | | |